

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～21	日 本 史	22～39
世 界 史	40～59	地 理	60～71
数 学	72～77		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

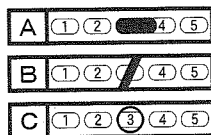
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(日 本 史)

〔I〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

6世紀前半に継体天皇を擁立して政治の実権を握っていた大伴 は当時の朝鮮半島情勢に対する失政がもとで失脚したともいわれており、大伴氏の勢力は衰退した。6世紀中ごろには新興の豪族である蘇我氏が伝統的な豪族の物部氏と対立した。蘇我氏は渡来人と結び、三蔵を管理するなど朝廷の財政権を掌握して、政治機構の整備や仏教の受容を推進していった。その中心となった蘇我馬子は物部 を滅ぼし、さらに崇峻天皇を暗殺して政治の実権を握った。その際に推古天皇が新たに即位し、馬子や厩戸王らが天皇を支えるかたちをとり、王権のもとで行政機構や地方組織の編成を進めた。新しい政策として冠位十二階が制定され、続いて憲法十七条が定められた。当時中国では隋が南北朝を統一して周辺地域に勢力を広げつつあった。中国との外交が再開され、遣隋使が派遣され小野妹子らが中国にわたった。隋が滅び唐が強大な帝国をきずくと、倭は遣唐使を派遣して外交関係の確立と維持に努め、中国からの制度や思想・文化の摂取を進めた。

問1 空欄 に入るもっとも適切な人名を以下のア～クからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|------|------|-------|
| ア 家持 | イ 守屋 | ウ 宅嗣 | エ 健岑 |
| オ 尾輿 | カ 旅人 | キ 金村 | ク 麿鹿火 |

問2 下線部 a に関して、以下のア～エの記述のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 朝鮮半島南部には馬韓・弁韓・辰韓という小国の連合がそれぞれ形成されていたが、4世紀には半島東部の馬韓から百済が、西部の辰韓から新羅がおこって国家を形成した。

イ 高句麗は中国東北部からおこり、朝鮮半島北部に勢力を広げて公孫氏の支配下にあった帯方郡を滅ぼした。

ウ 百済や新羅は5世紀後半に衰退し、それぞれの領域内の南部で独立的な勢力が台頭して分立状態になった。

エ 加耶諸国は562年までに百済・新羅の支配下にはいった。このため加耶諸国と密接な関係にあったヤマト政権の朝鮮半島における勢力は後退した。

問3 下線部 b に関して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 連姓の豪族のうち、最有力者である大伴氏や物部氏は大連に任じられた。

イ 臣姓の豪族のうち、最有力者である土師氏や尾張氏らは大臣に任じられた。

ウ 有力な地方豪族には君姓が与えられた。

エ 一般の地方豪族には直姓が与えられた。

日本史

問4 下線部cに関して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 継体天皇の時に段楊爾らの五経博士が渡来して易経・詩経・書経・春秋・礼記の五経を講じて儒教を伝えたとされている。
- イ 応神天皇の時に阿知使主が渡来して東漢氏の祖となったと伝えられている。
- ウ 継体天皇の時に王仁が渡来して『論語』や『千字文』をもたらし、西文氏の祖となったと伝えられている。
- エ 応神天皇の時に弓月君が渡来して養蚕や機織りの技術をもたらして秦氏の祖となったと伝えられている。

問5 下線部dに関して、以下のア～エの記述のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 継体天皇の時に渡来した司馬達等(止)が、飛鳥の私宅において仏像を礼拝したという記録が『扶桑略記』に残されている。
- イ 『日本書紀』には欽明天皇壬申年(538年)に百済の武寧王が、仏像・経論などを献じたと記されている。
- ウ 『上宮聖徳法王帝説』および『元興寺縁起』によると、敏達天皇戊午年(552年)に仏教が伝来したとされている。
- エ 6世紀に伝来したとされる仏教は、南方仏教(小乗仏教)の流れを汲んでいる。

問6 下線部 e に関して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 馬子は蘇我稲目の子であり、稲目・馬子親子は仏教をめぐって物部氏と対立していた。

イ 馬子が暗殺した崇峻天皇は馬子の娘婿でもあった。

ウ 馬子は厩戸王とともに『天皇記』『国記』という歴史書を編纂したとされている。

エ 馬子は飛鳥寺(法興寺)を建立したが、自らは法隆寺の西にある藤ノ木古墳に葬られた。

問7 下線部 f に関して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 推古天皇は欽明天皇の皇女で、蘇我氏との姻戚関係はない。

イ 推古天皇は用明天皇の同母妹であり、最初の女性天皇となった。

ウ 推古天皇の甥は厩戸王で、蘇我氏系の穴穂部皇女の息子である。

エ 推古天皇は敏達天皇の皇后であり、娘は厩戸王に嫁いでいる。

問8 下線部 g に関して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 中宮寺は厩戸王が母の住んだ宮跡に造立した寺院で、半跏思惟像や天寿国繡帳で著名である。

イ 四天王寺は、厩戸王が秦河勝との戦いに際して四天王に祈り、勝利したことによって創建したとされる。

ウ 厩戸王の造立した法隆寺(斑鳩寺)の建物群は、火災に遭って焼失しており、現存する金堂や五重塔などは再建されたものとみられている。

エ 高句麗からの渡来僧である恵慈は厩戸王の師となり、飛鳥寺に住んだとされる。

日本史

問9 下線部 h に関して、冠位十二階の序列として正しいものを以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 徳－仁－義－礼－信－智 イ 徳－仁－義－信－礼－智
ウ 徳－仁－礼－信－義－智 エ 徳－仁－礼－義－信－智

問10 下線部 i に関して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 「和を以て貴しと為し、忤^{きか}ふることを無きを宗とせよ」として、豪族たちに和を貴んで反抗することのないよう命じた。
イ 「篤く三宝を敬へ」として、豪族たちに仏教を尊重し帰依するよう命じた。
ウ 「詔を承りては必ず謹め」として、豪族たちに天皇のことは必ず従うよう命じた。
エ 「百姓に斂^{おさめと}ること勿れ」として、農民たちに対して豪族に反抗することのないように命じた。

問11 下線部 j に関して、以下のア～エの記述のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 600年に初めての遣隋使が派遣されたが、隋の文帝は倭国に関心を示さず、城内に招き入れなかった。
イ 607年に小野妹子が派遣された際には、隋に臣属しない形式の国書を携えたため、隋の煬帝の怒りを招いた。
ウ 608年に飛鳥を訪れた隋の答礼使の官位が非常に低いことが発覚したため、その後隋に使者は送られなかった。
エ 小野妹子とともに留学生や学問僧が隋に渡ったが、高向玄理は隋の滅亡に伴う戦乱によって現地で亡くなった。

問12 下線部kに関連して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 635年にはじめて遣唐使が派遣され、犬上御田鍬らが唐に渡り、2年後に帰国した。

イ 717年に留学生として入唐した阿倍仲麻呂は玄宗帝に重用されたが、帰国を果たすことができず長安で客死した。

ウ 唐僧鑑真は、たびたびの渡航に失敗しながら753年にようやく渡来し、日本に戒律を伝えた。

エ 894年に菅原道真が遣唐大使に任命されたが、道真の建議によってこの時の遣唐使は派遣されず、これを契機として遣唐使は廃絶した。

日本史

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

中世の武家政権は、地方支配のために守護制度を設けたが、その位置づけは時代によって変化していった。

鎌倉幕府の守護は、源頼朝^aが朝廷から得た権利に始まり、原則として各国に一人ずつ有力御家人が任命された。大犯三カ条などの重要な職務を担い、平時には御家人を率いて国内の治安を維持し、戦時には国内の武士を統率して対応した。

^b 京都には、朝廷と幕府の連絡にあたる京都守護が置かれた。京都守護は、のちに六波羅探題と改められ、西国御家人の統括にあたった。また、九州には守護以外にも鎮西奉行^cが置かれ、大宰府^dの実権をにぎった。

鎌倉幕府が滅亡し、南北朝の動乱^eが全国に広がると、守護が軍事上、大きな役割をになうようになり、その権限は大はばに強化された。たとえば動乱が長引くなか、守護は軍費調達のため、一国内の荘園や公領の年貢の半分を徴発する権限^fを認められた。また、鎌倉幕府の守護が担った大犯三カ条に加え、田地をめぐる紛争の際、自分の所有権を主張して稲を一方的に刈り取る実力行使を取り締まる権限、幕府の裁判の判決を強制執行する権限などがあたえられた。

室町時代の守護は、原則として京都に居住して幕府に出仕することを義務づけられ、領国には守護代などを派遣して統治させた。^g有力守護は、将軍を補佐する管領や侍所の長官^hに任命され、幕政の運営にあたった。また、ⁱ室町幕府の地方機関として、鎌倉府、九州探題、奥州探題などが設置された。

応仁の乱^j以後、守護の多くは領国^kに下ったが、争乱は全国に広がっていった。そうしたなか、みずからの力で領国をつくりあげ、独自の支配をおこなう地方権力として戦国大名^lが誕生した。戦国大名のなかには、守護から領国をうばったものもいた。

問1 下線部 a の人物が、平泉に軍を進めて滅亡に追いやった人物として正しいものを、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 藤原秀衡 イ 藤原泰衡 ウ 藤原秀郷 エ 藤原清衡

問2 下線部 b に関して述べた文として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 西国の御家人は、幕府を警護する鎌倉番役をつとめた。
- イ 霜月騒動では、有力御家人の和田義盛が滅ぼされた。
- ウ 守護は、国内の御家人を荘園や公領の地頭に任命した。
- エ 永仁の徳政令では、御家人の所領の質入れが禁止された。

問3 下線部 c の機関が設置された以後のできごとを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 承久の乱の発生
- イ 御成敗式目の制定
- ウ 比企氏の乱の発生
- エ 源実朝の暗殺

問4 下線部 d の機関が置かれた国を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 筑前国
- イ 肥前国
- ウ 筑後国
- エ 肥後国

問5 下線部 e に関連して、南北朝時代に後醍醐天皇が朝廷に設置した機関として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 恩賞方
- イ 記録所
- ウ 武者所
- エ 問注所

問6 下線部 f の権限を認める法令が1352年にはじめて発布された際、対象となった国を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 摂津国
- イ 近江国
- ウ 山城国
- エ 河内国

日本史

問7 下線部 g に関して、室町時代から戦国時代の京都について述べた文として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 都市民の自治的団体である惣を母体として、京都の祇園祭が再興された。
- イ 土倉と呼ばれる運送業者によって、京都に多量の物資が運びこまれた。
- ウ 京都六角堂にいた村田珠光によって、立花の様式が定められた。
- エ 京都五山の僧侶は、幕府の保護の下、活発に金融活動をおこなった。

問8 下線部 h に関連して、足利義満が将軍を辞したあとに就いた官職を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 太政大臣 イ 右近衛大将 ウ 左大臣 エ 左近衛中将

問9 下線部 i の役職に任命されるのが慣例とされた氏族を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 畠山氏 イ 斯波氏 ウ 細川氏 エ 京極氏

問10 下線部 j の機関の長官である鎌倉公方を補佐する役職を世襲した氏族を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大内氏 イ 山名氏 ウ 上杉氏 エ 土岐氏

問11 下線部 k に関連して、島津氏が薩摩国に招いた僧侶を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 一休宗純 イ 桂庵玄樹 ウ 万里集九 エ 隠元隆琦

問12 下線部Ⅰに関して述べた文として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 今川氏・武田氏のように、守護代から身をおこす戦国大名も現れた。
- イ 北条氏の小田原，大内氏の豊後府内などの城下町がさかえた。
- ウ 朝鮮から技術を導入し，磁器の生産に乗り出す戦国大名も現れた。
- エ 戦国大名の検地には，家臣や名主に自己申告させるものがあった。

日本史

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

江戸時代、「将軍のお膝元」である江戸は、日本最大の城下町であり、また世界有数の大都市でもあった。将軍の居城となった江戸城の石垣や堀は、諸大名のお手伝い普請^aによって築かれた。参勤交代^bが制度化されると、武家人口とともに町方人口も増え、17世紀末から18世紀のはじめにかけて、江戸の人口は100万人を超えたと推定される。人口の増加は「何方迄^cが江戸の内にて、是より田舎なりと云境^dこれ無く、(中略)いつの間にか、北は千寿、南は品川迄家続きに成たる也^e」^fといった都市域の拡大をもたらした。このような江戸の発展は、一方でさまざまな問題を生み出すことともなり、享保の改革、寛政の改革、天保の改革のいずれにおいても都市政策に意が注がれることとなった。

問1 下線部 a に関して、諸大名が石高に応じて幕府に負った負担を通常何と呼ぶか。もっとも適切なものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 軍役 イ 伝馬役 ウ 助郷役 エ 高掛物

問2 下線部 b に関する説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 享保の改革における上げ米制度の実施に伴い、大名の在府期間が半年となった。

イ 大名と旗本は、原則として1年おきに1年間在府した。

ウ 大名行列の従者の数は、家格や石高で異なった。

エ 文久の改革では、原則として大名の在府期間が3年に1年または100日となった。

問3 下線部 b において利用され、通常、五街道の一つに数えられる道として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 甲州道中 イ 山陽道 ウ 北国街道 エ 山陰道

問4 下線部 c は、8代将軍徳川吉宗の諮問に答えて幕政改革を論じた書物のなかの一節である。この書物の名称として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 『経済録』 イ 『読史余論』 ウ 『政談』 エ 『経世秘策』

問5 下線部 c に引用した書物を著したのは誰か。正しい人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 荻生徂徠 イ 本多利明 ウ 太宰春台 エ 新井白石

問6 下線部 c に登場する「千寿」は、現在の千住のことである。ここは松尾芭蕉『奥の細道』の文中において、旅に出る芭蕉らと、見送りの人々が別れを惜しんだ宿場である。松尾芭蕉と同時期に生きた人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 徳川綱吉 イ 間宮林蔵 ウ 蔦屋重三郎 エ 角倉了以

問7 下線部 d に関連して、大岡忠相が町奉行のときに江戸で起こった出来事として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 富士山大噴火による降灰 イ 由井正雪の乱
ウ 打ちこわし エ 赤穂事件

〔IV〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

2011(平成23)年7月、衆議院の委員会において海江田万里経済産業大臣が、答弁中に涙を流し、話題となった。海江田大臣は、1 内閣の閣僚の一人として、原子力経済被害担当でもあった。大臣に対して引責辞任を示唆する野党議員の質問を受けて、東北地方太平洋沖地震で被災した原子力発電所の問題に対処する法案の成立をめざすという責任に言及しつつ、涙を拭いたのであった。

日本近現代史を振り返ると、公的な立場にある人が泣くという感情表現を見せる事例をいくつか見出すことができる。

たとえば、伊藤博文は、1873(明治6)年10月、先輩政治家木戸孝允の前で「号泣数刻」であったと、木戸の日記に記されている。伊藤が泣いたのは、征韓論をめぐる政府内の対立において、西郷隆盛らいわゆる征韓派という政府内グループに押し切られそうになったことを嘆いたからであろう。伊藤は、木戸や大久保利通らと共に、いわゆる内治優先派という政府内グループの一員であり、当面する朝鮮との外交において、西郷らが主張する国交樹立のための外交使節派遣に反対する立場にあった。西郷らの主張は朝鮮との軍事的衝突を引き起こしかねず、それを避けて、現時点では、日本の内治整備を優先するべきであるというのが伊藤らの主張であった。この問題は、最終的には内治優先派の勝利に終わったが、その過程で、のちに初代内閣総理大臣となった伊藤が長時間にわたって号泣する場面があったのである。^a

つぎに、明治天皇^bが、日露戦争中に、戦争の行く末を心配して、涙を流したことは宮内省が中心になって編纂した『明治天皇紀』に記されており、良く知られていることである。日露戦争は、列強の一員であったロシアとの戦争であり、勝利を安易に予想することを許さないものであった。日露戦争に際して、アメリカ合衆国出張と同国における親日世論作りを金子堅太郎に依頼した伊藤博文は、金子に対して、もし日本の敗戦が予想されるような戦局を迎えた場合には、自ら兵士となって戦争に参加するとまで言ったと伝えられている。結局、日露戦争において日本が敗北することはなかった。^cそして、日露戦争における国家の最高指導者として、天皇は憲法に基づいて宣戦布告をしたものの、国民に対して好戦的な呼

日本史

びかけをしたり、扇動的であつたりしたことはなく、むしろ悩み、涙を流した姿が書きとどめられることとなった。

イギリスおよびアメリカ合衆国との開戦を決定することは、対露開戦を決定する以上の危険を伴う国策であつたと言えよう。英米両国への開戦を決定した東条英機^d内閣総理大臣が、1941(昭和16)年12月7日、首相官邸の寝室で一人号泣したのを家族が目撃したということを書いた歴史書がある(保阪正康著『昭和陸軍の研究』上巻)。その翌日には、日本軍による英領マレー半島への上陸および米国ハワイの真珠湾奇襲攻撃が行われた。東条首相の涙を、どのように解釈するかは人それぞれであろうが、極度に緊張感が高まったものと推測することはできよう。結局、この戦争が、未曾有の敗戦に終わったことは言うまでもない。

敗戦後、1947年、労働運動の指導者であつた 2 が、ラジオ放送を通じて、泣きながら、いわゆる二・一ゼネストの中止を伝えたことも良く知られている。全官公庁共同闘争委員会に結集した官公庁の労働者を中心に、同年2月1日に、基幹産業を巻き込んでゼネラル＝ストライキを断行することが決定されていた。しかし、その前日にGHQの指令で中止を命じられたのであつた。それを伝える 2 は、感極まったのであろう。ラジオから流れる彼の涙声の放送にちなんで、一步退却、二歩前進ということだが、その後長い間語り継がれた。

1956年12月、日ソ共同宣言の国会承認を達成した鳩山一郎内閣総理大臣が、賛成票を投じた日本社会党^eの党首である鈴木茂三郎と国会内で対面して泣いたことは新聞に写真入りで報じられた。敗戦直前、1945年8月8日に、ソヴィエト連邦が日ソ中立条約^fを無視して日本に宣戦布告をして以来、ソ連との戦争状態が続いていたが、鳩山首相は「自主外交」を提唱して、日ソ国交回復を推進した。それが実現したことにより、日本はソ連の賛成を得て、国際連合に加盟することができた。そして、まもなく鳩山内閣は総辞職した。したがって、鳩山首相の涙は、単に政策実現ということにとどまらず、公職追放の期間を含む、敗戦後の政治経歴全体を振り返っての感慨深さに由来したのかも知れない。

このように公的な立場、指導的な立場にある人たちの泣くという感情表現に着目して、その状況や歴史的意味をあれこれ考えてみることも歴史学の興味深い視点のひとつと言えそうである。

問1 空欄 に入る人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 吉田茂 イ 池田勇人 ウ 菅直人 エ 佐藤栄作

問2 下線部 a にもっとも関係の深いものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大日本帝国憲法の発布式典が行われた。
- イ 保安条例が公布、施行された。
- ウ 第1回帝国議会が開催された。
- エ 立憲同志会が結成された。

問3 下線部 b に関して、誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1875年、国会開設の詔を発した。
- イ 1882年、軍人勅諭を発した。
- ウ 1890年、教育勅語を発した。
- エ 1908年、国民に勤儉節約と皇室尊重を求める戊申詔書を発した。

問4 下線部 c に関連して、日露講和条約(ポーツマス条約)に調印した外務大臣を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 陸奥宗光 イ 幣原喜重郎 ウ 松岡洋右 エ 小村寿太郎

日本史

問5 下線部 d にもっとも関係のうすいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1940年10月、大政翼賛会を結成した。

イ 1942年4月、戦争翼賛体制の確立をめざして、衆議院議員選挙を実施した(翼賛選挙)。

ウ 1943年11月、大東亜会議を開催した。

エ 1944年7月、マリアナ諸島のサイパン島が陥落すると、内閣は総辞職した。

問6 空欄

2

 に入る人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 高野房太郎 イ 伊井弥四郎 ウ 幸徳秋水 エ 大杉栄

問7 下線部 e に関して、正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1901年、安部磯雄や片山潜らによっていったん結成されたが、治安維持法によって解散を命じられた。

イ 1906年、第一次西園寺公望内閣の下でいったん結成されたが、大逆事件によって解散を命じられた。

ウ 1932年、社会大衆党としていったん結成された。しかし、1940年に解散を命じられた。

エ 1945年、片山哲を書記長として、旧無産政党を統合して結成された。

問8 下線部 f に関して、誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1941年、松岡洋右外務大臣がモスクワで結んだ条約である。
- イ 条約締結の時期に悪化しつつあったアメリカ合衆国との関係を日ソ提携により調整しようとするものであった。
- ウ 日ソ中立条約の成立後、日独伊三国同盟が締結された。
- エ 条約の有効期間は満5年であった。

問9 征韓派について、80字以内で論述せよ。句読点も1字に数える。算用数字は1マスに2字記入してもよい。

下書き用(横書き, 20字×4行=80字)→
